

平成17年度事業計画

平成17年度事業の主要項目は各項に示すとおりであるが、今年度の最大重要項目は病院における薬剤師の人員配置基準見直しへの対応である。平成13年の厚生労働省の検討会において薬剤師の地域偏在問題、薬剤師の病棟における臨床教育が不十分であること、個々の病院における薬剤師業務の普及や定着の状況が様々であることが指摘された。また、病院における薬剤師の役割の重要性が高まってきたことは意見の一致を見たが、「病棟単位に薬剤師1人を配置すべき」という意見にも配慮し、今後の薬剤師の需給、薬剤師の業務内容や配置の実態、薬剤師養成における臨床教育の充実等の進展をふまえ、3年後を目途に人員配置基準の検討を開始すべきとされたところである。昨年度は見直しの時期であったが、厚生労働省では病院における薬剤師の配置基準の検討を社会保障審議会医療部会で行いたいとの考えを示したことにより、議論の場が社会保障審議会医療部会に移ったが、平成17年度も引き続き病院薬剤師配置基準見直し対策特別委員会を中心にこの問題に取り組んでいくこととする。

薬学教育6年制の問題については、薬剤師養成のための薬学教育は平成18年4月より6年制となることが決定した。今後の薬剤師養成において当面する諸課題に対する各関係機関の役割を明確化し、薬剤師養成の円滑な実施に資するため新薬剤師養成問題懇談会が開催され、平成17年度より本格的に長期実務実習の実施体制の整備について検討することとなった。日病薬に課せられた課題は長期実務実習における実習生の受け入れ体制の整備と、実習の質の担保である。このため、薬学教育委員会が中心となり総ての薬学生の長期実務実習を受け入れるためのグループ実習制度、ふるさと実習制度の確立、実習指導者の養成や指導者用の全国共通のテキストの作成等を進めていく。

診療報酬改定への取り組みについては、平成18年4月に予定されている診療報酬改定時に病・診薬剤師業務が診療報酬上で正当な評価が得られるよう、要望する課題について検討を行う。「院内製剤における薬剤師の技術評価」、「薬剤の情報提供などにおけるチーム医療としての評価」などを要望項目として検討する。

安全な医療提供体制の構築や良質な医療の提供が叫ばれる中、医薬品における安全対策がクローズアップされており、薬剤師の薬に関するリスクマネージャーとしての業務は非常に重要となっている。日病薬ではこれまでも医薬品による事故防止対策に積極的に取り組んできたが、残念なことに同じような医療事故が繰り返されている。17年度も引き続き重要課題として取り組むこととしている。

薬剤管理指導業務の完全実施は平成11年度より掲げている目標であるが、病院における薬剤師の人員配置基準に関する検討会でもその普及と定着について様々であるとの指摘を受けたところであり、引き続き完全実施に向けての方策等について検討する。

平成17年度新たに開始する事業としては、専門薬剤師認定制度実施のための常置委員会を設置し、がん薬物療法専門薬剤師、感染制御専門薬剤師、輸液療法専門薬剤師の認定にむけて認定の方法、研修内容等について具体的な検討を行うこととし、平成17年度にはがん薬物療法専門薬剤師、感染制御専門薬剤師ともに認定事業を開始できるよう取り組むこととする。

また、平成17年4月は日病薬創立50周年の年であることから10月に日病薬創立50周年記念事業を行う。

平成17年度主要項目

1. 病院における薬剤師の人員配置基準見直しへの取り組み
 - 薬剤師地域偏在への対応
 - 病院団体等関係団体への対応
 - 薬剤師が病棟毎に配置されることのエビデンスの収集
2. 薬学教育6年制へむけての実習受入体制の取り組み
 - 長期実務実習受け入れ態勢整備に向けての対応
 - 実務実習指導用テキストの作成
3. 医療事故防止対策に関する取り組み
 - リスクマネジメント研修会の開催
 - 医薬品による事故防止対策の検討
 - 医療事故事例の収集と解析

4. 薬剤管理指導業務の普及・定着等、薬剤師業務に関する取り組み
 - 薬剤管理指導業務の完全実施及び薬剤管理指導未実施施設への対応
 - 注射薬調剤業務の推進
5. 診療報酬改訂への取り組み
 - 包括医療における薬剤師の役割の検討
 - 次期診療報酬改定に向けての検討
6. 専門薬剤師認定制度の実施
 - 制度規程等の検討
 - カリキュラム、講習、試験、運営に関する具体的案の作成
 - 講習会の開催
7. 規模別・機能別病院薬剤師業務に関する取り組み
 - 特定機能病院
 - 一般病院
 - 中小病院
 - 精神科病院、療養病床
 - 診療所
8. 会員への情報提供及び啓発事業に関する取り組み
 - 日病薬誌の編集出版
 - ホームページへの最新情報の掲載、頻繁な改訂及び維持管理
9. 国際交流事業に関する取り組み
 - F I P等国際会議、学会等への派遣
 - 海外からの研修生受け入れ
10. 教育研修に関する取り組み
 - 実務研修会、薬剤師治験コーディネーター養成研修会の開催
 - 院内感染防止研修会の企画
 - CRAのための治験セミナー開催
 - 生涯研修認定
 - 専門薬剤師認定制度の実施
11. 広報活動に関する取り組み
 - 広報月間における「全国お薬相談会」の実施
 - 国民に対するイベントの実施
 - 英語版の日病薬パンフレットの作成

12. 調査研究に関する取り組み
 - 病院・診療所薬剤師業務の現状調査の実施
 - 学術小委員会の編成と調査・研究の推進
 - 病院薬局協議会の開催
13. 医薬品情報関連事業に関する取り組み
 - 重大な副作用回避のための服薬指導情報集発行
 - インタビューホームの内容充実への対応
14. プレアボイド報告に関する取り組み
 - プレアボイド報告の推進
 - 会員へのフィードバック
15. 財政基盤整備に関する取り組み
 - 会員増加対策への対応
 - 効率的な会務運営への対応
16. 日病薬創立50周年記念事業に関する取り組み
 - 日病薬創立50周年記念事業の実施
 - 記念誌の発行